

### 桜の聖母短期大学

#### 『国見町プロジェクト』 ～小中学生とのまちづくり～

小中学生と一緒にまちづくりについて考える未来づくりワークショップを行いました。

子どもたちの考えを引き出すために、グループごとに大学生がファシリテーター（進行役）となり国見町のいいところについて話し合い、まとめました。



小中学生の自由な意見が提案された報告会

### 桜の聖母短期大学

#### 『食育～国見町の食文化と食づくり』 ～地域食の研究とメニュー開発～

桃を使った子ども向けおやつの開発や、小坂・貝田地区のお母さんの聞き取りから凍み大根やあんぼ柿など地域の郷土食について調査しました。

大学生が開発した「もも大福」は商品化が実現しました。



開発したおやつを試食会（くにみ幼稚園）

震災から5年 これからのを考える

# 学生と考える地域づくり まちづくりカフェ

域学連携協定を締結している福島大学と桜の聖母短期大学の学生が1年間の学習成果を報告しました。地区のみなさんや子どもたちと一緒にフィールドワークに取り組んだ大学生。若い人のアイデアをもとにこれからの地域づくりについて考えました。

今回の報告で、大学生からまちづくりについて「集落の魅力」「歴史や文化」「子どもたちの考えるまちづくり」「食」などさまざまな角度から意見を提案してもらいました。発表から新たな発見があったり、今後の町の可能性について考えさせられました。また、どのグループからも仲間や先生、地区のみなさんと議論し、1年かけて悩み、考え出されたアイデアが発表され、国見町への「想い」

## 参加したみなさんの声



佐藤清二さん

内谷東町内会

今年は地区の運動会や芋煮会など多くの行事に大学生に参加してもらったので、地区の活動や住民同士の交流に刺激をもらいました。

内谷を活性化させるため、大学生のアイデアをもとに地区のみなさんとも考えて様々な取り組みを進めていきます。来年以降も引き続き大学生と協力して活動していきたいです。



氏家博昭さん

第9町内会

大学生の報告を聞いて、具体的な地域活性化のアイデアをたくさん提案していただき、勉強になりました。

今後森江野地区でも、大学生と一緒に地域を活性化させる取り組みを行ってみたいと思いました。

が詰め込まれた報告会となりました。その「想い」を受け、提案されたアイデアを今後の参考にし、まちづくりにつなげていきます。「カフェ」とは、人と人が出会い情報が交わされる場のことを言います。今年、まちづくりカフェでも、学生の報告を聞いて、参加者同士、町への熱い想いを話し合い、地域のこれからを考える場となりました。

震災から5年が経過しようとしています。この節目に「未来の国見町をサイトシーイング」と「まちづくりカフェ」という町のこれからについて考える機会がありました。子どもから大人まで一緒になってまちづくりや地域づくりを考える取り組みが行われています。一人一人がまちづくりの主役です。今後オール国見で、未来に向けて歩みだしていきます。



まちづくりカフェが2月28日、観月台文化センターホールで開かれました。今回のまちづくりカフェでは、福島大学と桜の聖母短期大学の学生が国見町で1年間活動した取り組み成果を発表しました。両大学の学生は、国見町の「地域づくり」について各専門分野ごとに調査を進めてきました。国見町に何度も足を運び、現地の見学、住民への聞き取り、専門的な文献調査などを行いました。地域をよくするため、地域課題を解決するためのアイデアを検討し、4グループから報告がありました。また、報告を聞き、参加者で意見交換しました。

### 福島大学

#### 『内谷集落活性化事業』 ～地域のたからものの発見と活用～

内谷地区をフィールドに大学生が「たからものさがし」に取り組みました。内谷の魅力である「たからもの」を活用し、人を呼びこむためのアイデアを提案しました。

また、学生が作成した内谷地区の魅力満載のパンフレットも完成しました。



名人直伝のしめ縄づくりを体験

### 福島大学

#### 『貝田宿まるごと博物館』 ～歴史文化の調査と現地見学ツアー～

貝田地区の歴史について、信仰・祭礼、産業、鉄道火災での住民活動などの様々な角度から調査を進めました。

貝田の歴史的な魅力を多くの方に知ってもらおうと学生が案内人となり、現地見学ツアーも行いました。



報告会と見学ツアーには約130人が参加